

府中山の会だより

(敬称略)

2023(令和5)年 8月

編集 広報 山浦



山行記 第7回 森吉山(1454m)/秋田駒ヶ岳(1637m) 男性2名 女性10名 計12名
実施日 2023年6月29日(木)~7月1日(土) 一般向き 担当 岸波勇雄 平田律子。

平野 泰江 記 森吉山 6月29日は移動日で、角館駅に集合。少し早めに到着したので、昼食と散策のため街中へ。桜の時期訪れた角館は大変な賑わいだったが、この時期は閑散としている。稲庭うどんや比内鶏親子丢で昼食を済ませ、武家屋敷通りを急いで散策。角館駅から皆で、秋田内陸線に乗車。山間を走る単線で、どうも赤字路線らしいが、この日は台湾からのバス2台分の乗客と、私達府中山の会のメンバーで、2両編成の車両は大賑わい。ガタンゴトンと懐かしい列車の音と、車窓からの田んぼアートや、案山子コンテストなど、景色も最高。線路沿いには花を付けた大きな栗の木が次々に見える。この辺りは栗の名産地だそう。阿仁合駅まで各駅停車で1時間20分程、内陸線に乗る事で味わった感動の数々に感謝です。翌日の雨予報を心配しながら、冬はスキーでも賑わうらしい、森吉山の麓フッシュに宿泊。30日は一日雨の予報だが、朝まだ雨は降っていない。ゴンドラの始発、8時45分に乗車すると、パラパラ雨が降って来た。ゴンドラ山頂駅に到着する頃には、雨も風も強くなっている。熟慮の上、雨具を着用し、森吉山に向け歩きはじめる。周りの景色は見えないが、足元の可憐な花たちが目に入る。阿仁避難小屋で休憩し、森吉山を目指す。ハクサンチドリ、イワカガミ、ニッコウキスゲ、ハクサンシャクナゲ、等…。心を慰めてくれる花々。森吉山山頂にたどり着くが、強風で立っているのがやっとで、記念写真をとり、すぐ同じ道を引き返す。阿仁避難小屋で昼食を取りゴンドラへ。ゴンドラ山麓駅へ戻ってみると、強風のためゴンドラ登りは運休になっていた。360度の大パノラマはお預けとなってしまいましたが、またいつの日にか、訪れたいものです。

邑上 博文 記 秋田駒ヶ岳 7月1日(土)、曇天・濃霧(ガス)の中、雨具・ザックカバーを装着し、8時前秋田駒ヶ岳八合目駐車場出発、シャクナゲの多い低木帯を抜けた辺りより高山植物達を横に見て尾根道へ。谷より吹き上げる強風・濃いガスにより視界不良となるなか、コマクサ群生地(花は点在程度)を過ぎムーミン谷を目指すトラバースへ、風はやや収まりチングルマの大群落に続いてニッコウキスゲが温かく迎えてくれる。楽しい花園を後にすると岩場の急登で難儀し、登りきって下ると阿弥陀池の湿地帯に出た。強風・濃いガスのため男女岳へ登頂するグループ(5名)と避難小屋で待機する(昼食)グループに分かれる。合流後阿弥陀池を出発、泥濘の悪路をひたすら下山し、13時半に八合目駐車場へ到着。濃いガスと強風により景色は楽しめなかったが、沢山の高山植物に出会い思い出深い山行となりました。ペンションクライマーのオーナーより秋田駒ヶ岳情報等を戴き、有意義な一時を共有でき、手厚いもてなしに感謝しかありません。



ペンション
クライマー
田沢湖

次ページに
写真続く。

森吉山山頂



秋田駒ヶ岳 男女岳山頂



山行記 第8回 黒川鶏冠山(1716m) 大菩薩連嶺 男性6名 女性15名 計21名
実施日 2023年7月15日(土) 一般向け 担当 山浦研司 大貫孝子

山浦 研司 記 黒川鶏冠山は、私が担当した初めてのバス山行です。バス山行実施の最低参加人数の13人が集まるか心配でしたが、おかげさまで定員の21名で出発できました。当日は、3連休の初日で中央高速の渋滞で到着が30分ほど遅れました。天気は曇りで、連日の猛暑に比べれば気温が下がり良かったと思います。9時5分出発、民家を抜けて里山のような登山道にはいります。それなりの急登もありますが、よく整備された登山道です。ブナ、コナラなどの木々の緑が美しく森林の管理も良くされています。この森が東京都の水源保全林だからでしょうか。またフワフワの苔に覆われた大小の岩を何度も通りますが、苔の緑も美しい。頂上近くの尾根にて、鶏冠神社へ向かいますが、10数メートルほど急な岩場、ここが鶏冠部分かな、と思いながら11時頃に頂上ピークの一つ鶏冠神社に到着。ここで記念撮影。見晴らしは曇りで残念でした。尾根に戻り黒川鶏冠山三等三角点へ、記念撮影と昼食。寒くて上着を着ます。12時30分に柳沢峠に向けて下山出発。登山道は、登り以上に整備された道でした。14時10分に柳沢峠到着。14時30分バス乗車、帰路へ。途中、桃の直売所により、渋滞もありましたが、17時頃に府中駅に無事に到着しました。会員、役員の皆様のご協力に感謝申し上げます。



黒川鶏冠山三等三角点で



鶏冠神社にて